

PX-DM300A クイックガイド

電源を入れる

1. 背面の電源コネクタとコンセントを電源コードで接続します。
2. 背面の電源スイッチを入れます。
→本製品が起動するまで30秒ほど時間がかかります。工場出荷時の設定では、本製品が起動すると「ピピピッ」と音が鳴り、画面には「オートコピー」と表示されます。

電源を切る

1. 操作パネルの[△ボタン]または[▽ボタン]を押し、「シャットダウン」を選択し、[ENTボタン]を押します。
2. 「シャットダウンハ ENTヲ オシテクダサイ」と表示されたら、[ENTボタン]を押します。
3. 「システムチェック OK！デンゲンヲ OFF デキマス」と表示されたら、背面の電源スイッチを切ってください。

⚠注意

- 電源を切る際、必ず上記の手順で行ってください。手順1・2を行わずに電源スイッチを切ると故障する場合があります。また、保存していない設定は無効になります。さらに、コピー中に電源スイッチを切ると、コピー先ディスクが読み書きできなくなります。

オートコピー

簡単にコピーするには以下のように行います。最大3枚のコピー先ディスクに対して同時にコピーすることができます。

1 [COPY ボタン] を押します。

- あるいは、[△ボタン]または[▽ボタン]を押し「オートコピー」を選択し、[ENTボタン]を押します。工場出荷時の設定の場合、「オートコピー」を選択すると「ピピピッ」と鳴ります。

2 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

3 コピー先ディスクを2番目以降のドライブに入れます。

- 工場出荷時の設定の場合、ディスクを入れた後、20秒経過すると自動的にコピーが始まります。もし自動的にコピーが始まらない場合は[ENTボタン]を押してください。コピーが始まります。
- 終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

⚠注意

- コピー先としてCD-RW、DVD±RWを使用する場合、記録済みデータがあると、自動的にクイック消去されます。消去したくないデータがある場合は必ずバックアップをとってください。それ以外のディスクの場合、コピー先にデータがあるとエラーになります。

コピー+コンペア

コピーとコンペアをセットで行うことができます。コンペアとは、コピー先の記録済みデータがコピー元のデータと論理的に同じであることを再確認する機能です。コピー先ディスクを、貸し出しや配布する目的で製作する場合は、本機能のご利用をお勧めします。

1 [COPY COMPARE ボタン] を押します。

→あるいは、[△ボタン]または[▽ボタン]を押して「コピー+コンペア」を選択し、[ENT ボタン]を押します。



2 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

3 コピー先ディスクを2番目以降のドライブに入れます。

→工場出荷時の設定の場合、ディスクを入れた後、20秒経過すると自動的にコピーが始まります。もし自動的にコピーが始まらない場合は [ENT ボタン] を押してください。コピーが始まります。

→終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

<ポイント>

- [COPY COMPARE ボタン] を押しても上の図のような表示が出ない場合は、[ESC ボタン] を何回か押してから [COPY COMPARE ボタン] を押してください。
- コピー+コンペアが終了したら、メニュー画面に成功した枚数と失敗した枚数が表示されます。コピー元とコピー先のデータが少しでも違っていたら失敗と判定されます。
- コピー元ディスクは自動的に排出されません。動作が終了したら、イジェクトボタンを押して取り出してください。
- 電源を入れた直後の初期動作を「コピー+コンペア」にするには、メニュー画面から「セットアップ」→「スタートアップメニュー」を選択し、その中から「コピー+コンペア」を選択して [ENT ボタン] を押すと設定されます。スタートアップメニューの操作方法については取扱説明書「3.5.4. スタートアップメニュー」(26 ページ) を参照してください。
- データ容量が約 650MB の CD をコピー+コンペアするには、24 倍速で約 10 分、10 倍速で約 14 分、4 倍速で約 26 分かかります。ただし、ディスクの状態によっては更に時間がかかる場合があります。